

紀伊長島駅乗務員配置解消を撤回せよ! 社員の生活を無視した提案に反対!!

台風12号の影響で紀勢線が被害を受けて間もない9月20日、三重支店から、突如として紀伊長島駅への乗務員配置の解消について説明がありました。

本部は、組合員の生活基盤、労働条件の変更、安全問題等、重要な案件にも関わらず、本部・本社間の協議もない一方的な説明は甚だ遺憾であり強く抗議すると共に、申第11号「紀伊長島駅への乗務員配置の解消に対する申し入れ」を行い、11月24日、業務委員会を開催し議論してきました。

会社は理由として、①紀伊長島駅では乗務員養成を行っていないので伊勢・亀山運輸区の指導操縦者に負担②就業制限等の波動対応力の向上③機動的な行路設定が可能④南勢地区の乗務員確保が困難⑤管理者の再配置、等を挙げましたが、何れも説得力に欠けたものです。危惧されている東南海地震・津波への対応を考えると安全上も問題であると言えます。

今は、紀伊長島駅の乗務員配置解消ではなく、より強化する事が求められています。乗務員養成を行い、紀伊長島以南の全てを受け持つことで伊勢運輸区の負担は軽減され、津波等の対応を熟知した乗務員を養成できます。波動対応力も向上します。これまで、わざわざ遠方の社員を紀伊長島駅に配置してきた事を鑑みれば「南勢地区の乗務員確保が困難」と言うのは会社の言い訳に過ぎません。また会社が「コスト削減が目的ではない」と述べたことを見ても、何ら必要性のない提案なのです。

さらには、この提案により転勤を余儀なくされ、100kmを超える遠距離通勤を強いられる社員もいるのです。私たちは、社員の生活設計を大幅に崩し、安全上問題ありと主張しました。しかし、会社は「住むところは自由だ」「安全上問題はない」等と、社員的心情を逆なでし、安全軽視の姿勢です。このままでは、安全は脅かされ、将来の人生設計をも踏みにじられます。私たちは、労働組合としてしっかりと会社にももの申していきます!

熊野灘沿岸を縫うように走る紀勢本線の特殊性軽視は問題だ!

津波避難は?大雨・洪水への対応は?
異常時対応に不安は増大!